



やさしいお天気教室 ②

3校時：《天気図A・B・C...》

天気図に晴れや雨などを書く時は、次の記号を使います。

快晴（雲量0～1）＝○、晴れ（雲量2～8）＝⊙、

曇り（雲量9～10）＝◎、雨＝☔、雪＝❄などです。

また、風向はこの天気記号に棒線で、風力はこの棒線に羽根をつけます。そして、気温は天気記号の左側に、気圧は下2ケタの数字を天気記号の右側にそれぞれ数字で示します。

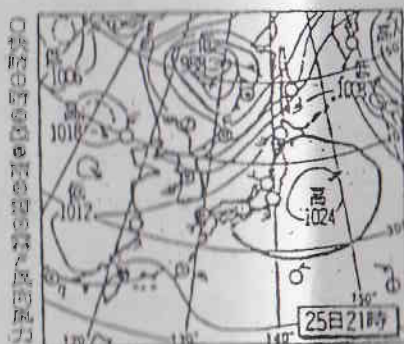
例えば、北風で風力2、天気が曇り、気温15℃、気圧1020hPaなら、右図のように書きます。

（注、風向は風上を指すので、北風なら棒線を北に向けます。）



それでは、天気図を見ましょう。東京の天気はどうでしょうか。東京の天気は、南風、風力3、快晴となります。

次に、明日の東京地方の天気はどうでしょうか。中国大陸に低気圧があるので、明日の夜か、あさっては雨のようです。



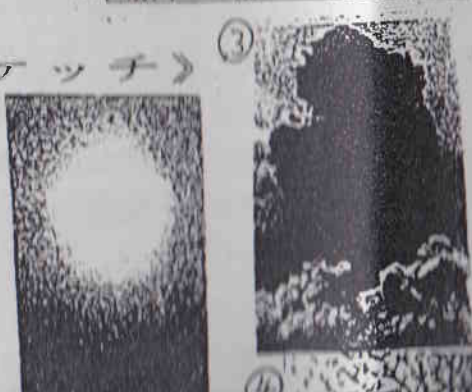
4校時：《雲のスケッチ》

雲でも天気の変化がわかります。

① 春のおぼろ月をつくるのが、高層雲。雨の前兆です。

② いわゆる雨雲が、乱層雲。発達すると黒く立ち込めます。（1校時参照。）

③ にわか雨を降らせる積乱雲。雷雲です



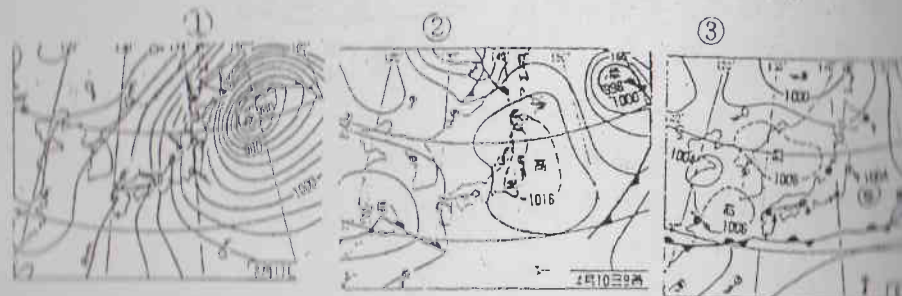
朝ランチタイム 《天気のことわざ》
「夕焼けは晴れ」 夕日の沈む西の空が晴れている。
「蛙が鳴くと雨」 体表に水分がないと、蛙は死んでしまう。雨が降る前の湿度の多い時、蛙はイキイキと鳴く。
他にも天気に関することわざがあります。理由を調べてみましょう。

5校時 《季節の天気図》

季節の変化は、日本付近にある気団に関係します。気団の性質は気団が発生する位置によって異なり、北（上）にある気団は低温。南にある気団は高温。東の海上で発生する気団は多湿、陸上で発生する気団は乾燥といった具合です。

従って、シベリア気団は低温乾燥で、影響する時季は冬。高温多湿の小笠原気団が影響する時季は夏となります。

下の天気図がいつの季節かわかりますか。



① シベリアに高気圧、オホーツク海に低気圧のある冬の気圧配置です。

② 低気圧と高気圧の間隔が短く、中国大陸から低気圧に乗って移動して来ます。春や秋の天気図です。

③ 本州上に長く停滞前線がかかっています。梅雨や秋雨の天気図です。

④ 東海上の1022hPaの高気圧が高温多湿の小笠原気団の影響を受けています。夏の天気図です。